

山本初代会長の

志を継ぐために



NSN2代目会長
武藤哲

皆様、同期会活動やNSNでの様々な活動を楽しんでいますか？NSN以外の活動に精力的に取り組んでいる方も多いと思います。自由・平等で、会員一人一人の地域での活動の足場となる同期会と、様々なNSNの活動は、すべて山本初代会長が四半世紀前に始めた、このユニークな活動、「毎年同期会結成」と「同期会合同での活動」が原点です。

NSN2代目会長の役割は、このユニークな活動をこれからもずっと続けていく体制を、皆様の全面的な協力を得て、NSNで整えていくことだと考えています。事実、山本前会長は、最後となった会報/NSN4月号掲載の「新年度に向けて」において、「私を始め組織全体が高齢モードになっていて、毎年若い会が誕生するNSNの

特徴をフルに活用できていません。仕組みを考えなおす必要があると思います。」とその抱負を締めくくっています。

今は「若い会」も、5年10年経てば「古く」なります。その間にも、新しい「若い会」が次々と発足していきます。新たな人材が毎年加わるのですから、特定の人が長期間にわたって役員や世話役等を務める必要はありません。若い会・世代に交代することで、急速に変わっていく時代の感覚や技術・ノウハウを取り入れることができ、任を決めて、任にあるときはしっかりと役割を果たし、次の世代にバトンタッチする仕組みが大事だと、私は考えています。

でも、NSNの運営連絡会や役員会の役割、ねりまシニアセミナー委員会等の作業部会の仕事の内容が分からないと不安ですから、新たな引き受け手がなかなか現れないかもしれません。そこで今後は、マニュアルを積極的に整備するとともに、NSNの作業部会等の具体的な活動や意義を、順次、会報/NSNの紙上で紹介していきます。

NSNを長年支えてきた方々にこれまでにつちかってきたノウハウ・人脈・知識等を末永く提供いただきながら、活動の根幹は、順次、若い会を中心とする有為な人材

に委ねていきましょう。また、各同期会の負担が平等であることも大事だと思います。NSNの皆様全員のご協力を、心からお願いいたします。

作業部会紹介シリーズのお知らせ

武藤会長の「NSNの作業部会等の具体的な活動や意義を、会報/NSNの紙上で紹介していく」との抱負に基づき、NSN全体を対象とする各種活動を2月号から順次紹介していきます。

具体的には、作業部会のねりまシニアセミナー委員会・サマーフェスティバル委員会・会報/NSN編集委員会のほか、自主活動と位置付けられるセカンドライフ研究会・WHCクラブ（講演会や演奏会の開催）といった多様な活動を、実際に支えている方々と、その思いをお伝えする予定です。これらは、各同期会と共に、NSNの連合体としての活動の軸となるものです。会員の皆さまには同期会活動に加えて、こうした活動にもこれまで以上に関心を持っていただき、積極的に参加して頂きたいと考えています。

【会員のひろば】

《シニアのプログラミング》

老後の楽しみはいろいろあれど、コンピュータプログラミングをその一つに挙げたい。シニアが楽しみでやってくる集まりがあると聞き、3年ほど前から渋谷でシニアのプログラミングネットワークに参加しています。もくもく会といって、各自黙々と自分のやりたいことをやります。始めに本日の目標を言って、終了時に成果を発表する。周りの人に乗って、全然違うことになってしまう事も多いです。ロボットや戦車を動かしているのを見ると、ついついです。若手の技術者も参加していて、分からないところをサポートしてくれます。「昔は紙にプログラムを書いてパンチャーに渡してねえ」とか「君たちの知らないことも、こんなこともあんなこともあったなあ」と歴史の証人ぶって優位に立ちどくしたりしています。2020年から小学校でプログラミングの授業

が始まります。小学生にできるなら

高齢者でもできるだろう。その後の伸びは別として、と思ってますが。

仕事でやってた時は客や上司から言われた事案を解決するためにプログラミングしたけど、この場合はネタを自分で考えなくてはいけない。これが意外な落とし穴。最近の子供用のテキストに色々あるのですが、大人には面白くない。最近考えついているのは、英文読み上げ発音チェック。位置情報や写真を埋め込む永年日記。取り敢えず、こんなもので数年暇がつぶせるかなあ、と思ってる次第。 ふたば会 横田邦彦

《生活しながらのリフォーム》

今年になり、息子夫婦から同居したいと話があり、40数年前に建てた木造家屋をリフォームすることに致しました。家屋の庇や玄関の框など建物のよさを残しつつ、生活しながらのリフォームを選びました。数多くなつた荷物をあちこちに移動することは、年寄りにはなかなかきつい仕事になりました。また息子の嫁から「この家でバイオリンを教えたい」と話があり、楽器の音が近所迷惑とならぬよう、二重ガラスの窓枠・壁に防音シートを入れるなど、音楽室を実現に移しました。

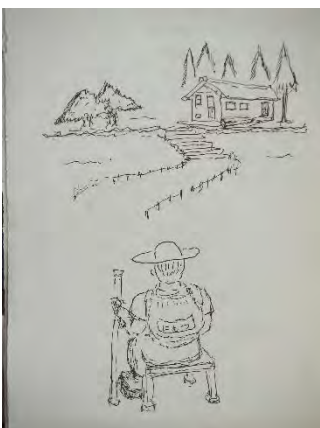
工事が進むにつれ、仮足場が家屋の周囲に組みあげられました。室内の天井・床・壁が明るくなり、家族から驚きの歓声があがりました。リフォーム中は、作業の休憩時間にお茶とお菓子を差し出しています。荷物の移動のほか、このようなことも一人に任せるのではなく、家族の協力が必要と感じました。昨年生まれた孫もだんだん大きくなり、家庭も笑いで賑やかになりました。完了まであとわずか。鮮やかな花を見てわくわくするように、家族がみな笑顔で、健康で、楽しく過ごせるようになったところです。

ひとみ会 松島弘行



熱心にプログラミング中

現在、老人ホームの慰問ボランティアを続けていますが、この音楽室ができあがれば、ギターとバイオリンで「赤とんぼ」「北の国から」「丘を越えて」などよく知られた曲を演奏して楽しみたいと思っています。機会があれば、老人ホームの皆さんにも合奏を楽しんでいただけます。



絵も筆者による

【各会の思い出の行事】

【会の設立と成長】

それは平成25年5月18日の第20回ねりまシニアセミナーです。偶然に申し込んだ私ですが、山本会長挨拶・基調講演・「NSNとは」が終わり、グループトークに入ると皆が会を作ろうと熱心に話し、その風圧で会の設立に至りました。その後のサマーフェスティバル・次年度のセミナーの準備会合に参加してNSNの素晴らしさを知り、かつ諸先輩とNSNの交流が出来、会の活動イメージが出来上がったのです。

それ以降、試行錯誤を重ね、今年で設立7年目に入りました。会の名前は「一笑会」。新しい会員も加わり、その都度新しい刺激を受け、会としては脂がのった「旬」状態を楽しんでいます。会の自慢は会員の個性とチームワーク。会員数は20名(男13、女7)。皆気持ちよく、野外行事が多い。今後の目標は一笑会を保ちながら「一生会」に変身する事です。



第1回野外活動(葛西臨海公園にてバーベキュー)

一笑会はこうして成長しています。山本会長の突然の逝去は、父を亡くしたに等しい寂しさを感じます。どうやって山本会長の遺志を引き継ぐか。一案として、各会が年間活動を楽しみながら、気心の知れた前後の会と部分的に交流を深める努力を続けることにより、全体としての結束も強まり目的は果たせると思いますが、如何でしょうか。

(一笑会 久保田秀夫)

ステージⅡ「セカンドライフ研究会」 第1回報告

10月10日(木)に行われたステージⅡセカンドライフ研究会第1回「みんなで語ろう人生百年時代」では、グループトークを通じた全員参加方式で、人生百年時代に関する様々な思い・希望や不安、更にはいま抱えている課題などを語りあい、第2回以降の研究会で取り上げるテーマなど、具体的内容を固めるといってこれまでにない方式を採用しました。

これまで私たちは三つの研究会を行いました。8年前に始めた「住まいの住まい研究会」では、10から20人の固定会員が協力して、ついの住まいの様々な選択肢について勉強し、施設見学を行い、4年続きました。「これからの住まい方研究会」では、より多くの仲間がテーマに応じて自由に参加できるようにしました。毎回セカンドライフを積極的に生きる仲間の体験談と、セカンドライフに

必要な備えの学習の二本立てでした。

「セカンドライフ研究会」では、前半は仲間の体験談、後半はグループトークとし、セカンドライフに必要な備えについて参加者全員の体験や思いを語りあう方式を採用しました。この方式が皆さんの支持を得たので、ステージⅡでは、前半後半共にグループトークで存分に語りあうことにしました。第1回研究会の結果は第2回研究会のご案内のチラシで報告しますが、第2回研究会のテーマは「からだの健康ー運動・食事・睡眠」です。ご参加をお待ちします。

事務局 角地徳久



オープン参加行事のご案内など

【定例行事】

☆NSN歌声交流カフェのご案内

昔歌った愛唱歌・童謡・抒情歌をCDの曲をベースに、みんなで歌って楽しむ集まり
 (日時) 偶数月第3木曜日 14:00～16:00
 (会場) 練馬高野台駅前地域集会所
 (会費) 無料 登録不要 先着25名様
 (問合せ) ねりまシンシアクラブ

桑原 ☎(39990) 4350

ほーと生きてきた私が、人生初めての挑戦をしたのが歌。80歳までに80曲・80点以上とスナック通い、クリアのお祝いに喫茶店のマスターがくれたのが童謡・抒情歌、200曲入りのCDカセットです。勿体ないので活用しようということで、故山本会長と91歳の綿貫さんが歌詞をパソコンに入力。プロジェクトで歌詞を映して、みんなで歌います。集会所の定員は36名ですが、6月と10月は満席になりました。

「ここで皆さんご存知の『ごんぐりごんぐり』に3番があるって聞いたことありますか?」

ごんぐりごんぐり泣いたら

仲良し小リスがとんできて

落ち葉にころんでおんぶして

急いで小山に連れてった

主に東北地方の方々に歌いつがれているようです。ほっこのする良い話を、スタッフの極端な人に披露して頂きました。

例会の様様を写真でご案内します。ごうきみなさんにもご参加ください。(桑原)



10月17日例会の状況

☆ナンプレ(数独)同好会

初めての方には簡単なやり方の説明をさせて頂きます。

(日時) 毎月第1金曜日 13:30～15:00

(場所) 練馬高野台駅前地域集会所

(会費) 100円 (資料代)

(問合せ) 四季会 桑原 ☎(39990) 4350

☆ユーモアサークル

3分間スピーチで、ユーモア感覚を会得

(日時) 奇数月第4月曜日 14:00～17:00

(場所) 練馬高野台駅前地域集会所

(会費) 3000円 (当日参加者)

(申込) 新エルフ内藤 ☎(6760) 2815

☆ミニフリッツを楽しむ会(四水会)

フリットフリッツの前半(オークション)を省略・簡単にしたミニフリッツの会

(日時) 毎月第4水曜日 14:00～16:30

(場所) 男女共同参画センター エーる 3階

(会費) 無料

(申込) ひとみ会 角地 ☎(39904) 80005

【NSN定例運営連絡会 開催メモ】

▼H31年9月28日(土) 14:00～16:00
 ▼H31年10月26日(土) 14:00～16:00

各委員会連絡確認事項

- ・シニアセミナー・講演会・会報
- ・サマーフェスティバル
- ・セカンドライフ研究会

【編集会議に参加して】

何の予備知識も無く、急なピンチヒッターとしての初参加でしたが、先ず感じたのは、思いのほかこじんまりと、少数精鋭で頑張っているという事でした。

NSN全体の事、そして同期会それぞれ活動の様子を知りたくて毎号楽しみにしていますが、このような情報伝達という大きな役割を果たすために、今後の内容について編集長から、各同期会会員のNSN以外における活躍の紹介をして頂く提案がありました。

多くの情報により、更に充実した紙面になってNSNがますます発展し、ひいては自ずから社会貢献にもつながりますように!

なお、会報についての感想を楽友会で伺ったので記します。

- ・以前に比べて読みやすくなった。
- ・84号1・2面のサマーフェスティバルの記事と写真は、非常に身近に感じた。
- ・4面のオープン参加行事は、数多く有り大変役にたっている。
- ・現在、年に2回のカラー刷りが、6回全部になると素晴らしい。

楽友会 坂井 和子